

©ラップ東京では、皆様のお役に立てるような様々な内容のコラムを発信しています。バックナンバーは www.raptokyo.co.jp から

「満ち潮と引き潮」

なぜ？海が遠くなったの？

夏休みの海水浴で子供からの素朴な質問。早朝にテントを設置したときには、波打ち際近く。お昼頃には10mほど離れていました。さつきは満潮で、いまは干潮に向かっているんだよ、と答えるのは簡単です。では、なぜ、満潮と干潮が起きるのかを正確に説明して、といわれると少々自信がなくなります。

新聞やテレビのニュースなどを毎日見ますが、「そうなんだ」「そりゃ、大変だ」そんな風に簡単に聞き流してしまっていないでしょうか？私も余裕がなく、新聞もしっかりと見られない日もあります。自分の業種とは関係のないニュースも多々ありますから、特に目を留めることもなく通過してしまうこともあります。でも、中には「あれ？これどういうこと？」そんな風に考え、疑問に思ったという経験はありませんか？そして、それをそのままにせずに、自分なりに調べて探ってみた、こんな方もいると思います。様々な情報や事象から、なぜ？どうして？と疑問に思うこと、「問題意識」をもつことは大切なことで、自分のビジネスにもきつと役立つと思います。

「問題意識」というと、自社内の問題を見つけ、改善することも大事ですが、お客様に接している方は、お客様に対して「問題意識」を持つことが必要だと考えます。お客様は何を考えているのか？何を伝えようとしているのか？なぜ、お客様はこれを見たいのか？など。このようなことに興味を持ち、さらにお客様を知ることができるようになれば「問題」に気づくキッカケをつかめると思います。

次に「今はこうだが、こうしたらどうだろう」と考えを発展させて、良い方向に向かうようにシミュレーションしてみれば

どうでしょうか。最初は、的外れかもしれませんが、それでも良いと思います。様々な「なぜ？」を積み重ねていけば、「問題意識」はより研ぎ澄まされていくものだと思います。

話はそれますが、大手IT会社の入社試験はユーモアにあふれていることで有名です。普通は疑問に思わないことを疑問に思う思考回路があるか、試しているところが非常に面白いと思います。(マンホールは、なぜ丸いのか？時計の長針と短針は一日に何回重なる？北極点または南極点での「風向き」は、どう表現するか、など。答えが明確にあるものもあれば、面接官の心をとらえれば良いというものもあるそうです。)

自ら疑問をもち、考え、導き出したことはいつまでも覚えていられるし、その人“オリジナルの答え”だと思います。一方、ネットで簡単に調べて得た答えは、間違っていないけれど、それ相当の答えに止まってしまうのではないのでしょうか。

まずは、「問題意識」を持つことから。その後、満潮と干潮について子どもと一緒に調べてみました。知っているつもりでしたが、改めて調べてみると様々なことが勉強になりました。

ご案内

ホームページ、会社案内、名刺、ノボリ、
クリヤファイル etc...
貴社だけのオリジナルデザインで
制作します。お気軽にお問合せください。
Tel:042-349-3535



■ラップニュース読者の皆様へ。
ラップニュース バックナンバーはホーム
ページからご覧いただけます。

<http://www.raptokyo.co.jp/>

※アンケートがありますのでよろしかったらご意見をお聞かせください。